

第4回委員会で委員から出された主な意見

基本構想案について

(1) エリア①について

(事業について)

- ・「事業の背景」だが、美保飛行場の方との協働という観点から事業を是非行いたいというような、共に行っていくという雰囲気が少し出ると良い。
- ・高齢者や障がい者、障がいのある方にも利用しやすいというようなことを1つ入れていただけると、障がい者にも目を向けたということも一言どこかに入れておいていただければありがたい。高齢者も幼い子供も良いが、それにまだ障がいのある方ということも入れていただければありがたいと思う。
- ・これからホールや会議室を造る前に、各種団体に働き掛けていくことも必要ではないかと思う。せっかく新しいものができても、あまり利用者がいないということになると、大変寂しいので、今からそういうことを考えておく必要があるのではないかと思う。
- ・どのようなゴールにしていくのかということであれば、今から5年先をめがけて、境港の図書館あるいは、境港のホールをどのように機能させていく、どのようなものにしていくというような準備も必要と思っており、図書館準備室、ホール準備室というような市民の皆さんと一緒に検討していくことを、同時並行で行う必要もあるのではないかと思っている。

(図書館機能について)

- ・文化ホールが何年か後には、だんだん古くなって使えなくなる可能性があると思う。そういったことでいうと、こちらに新しくできるホールは、できれば、音響の効果の良いところを造っておかないと、1つ駄目になったときに、本当に演奏がやりにくくなるのではないかと思う。

(図書館機能について)

- ・ますます歳をとっていくと、人と話す、あるいは集まるところが自治会しかなくなってくる。そこで、図書館といった機能を利用して、交流会などのさまざまな集まりなどがあれば、高齢者も集まりやすくなって、良い拠点になると思う。

(美術展示機能について)

- ・作品を発表できるような、県展規模の展示ができる設計を作っていただきたいと思う。特に境港市出身の芸術家が活動できるような規模にして頂きたいと思う。

(その他について)

- ・カフェは、境港市民は、結構、喫茶店に行かない市民だと思う。皆さんが協力したりして、盛り上げていけば良いと思っている。
- ・カフェといった商業施設的なものはどうかと思うので、少し危惧している。そういった施設は、境港周辺に個々が出店していくのではないかとみている。

(2) エリア②について

(体育館について)

- ・幸神体育館か渡体育館程度となっている。幸神町の体育館は非常に狭くて、造るのであればなくても良い。せつかく造るのであれば第二体育館位は確保していただきたいと思う。